

令和6年4月26日

関係のみなさまへ

特定非営利活動法人わがこと  
代表理事 大美光代

## 一般社団法人全国コミュニティ財団協会の日本財団助成事業の件について

日頃は特定非営利活動法人わがこと（以下、NPO わがこと）の活動について、ご賛同ご支援くださり誠にありがとうございます。一般社団法人全国コミュニティ財団協会（以下、CFJ）の「日本財団助成事業における不適切な会計処理」について、一部のご関係者から問い合わせがありましたので、ご関係者のみなさまへ情報提供と、私どもの対応についてお知らせいたします。

### 1. 一般社団法人全国コミュニティ財団協会（以下、CFJ）の日本財団助成事業の件とは何か

2023年10月23日、日本財団のホームページに「日本財団助成事業における不適切な会計処理について（以下、本件）」というお知らせが掲載されました。その後の経緯については以下の通りです。

2023.10.23	日本財団 HP に「日本財団助成事業における不適切な会計処理について」が掲載
2023.11.17 ～2024.3.18	その後、CFJ の HP に事実に関する情報公開5回 CFJ 側が不適切な会計処理を認め、日本財団からの指摘分全額返還を決定
2024.3.24	CFJ が第三者委員会の設置を報告
2024.4.6	「市民セクター全体の信頼性向上をいっそう進めていきたいと考える有志の会」より本件に関し、適切な説明責任の遂行と信頼回復に資する対応を求める公開要望書が発出
2024.4.19	6月中を目標に報告書を公開予定と CFJ が発表

\* 詳細は、各団体のホームページに記載がありますので、お手数ですがご確認ください

▶ 日本財団 HP（お知らせ掲載部分）

<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/information/2023/20231023-95667.html>

▶ 一般社団法人全国コミュニティ財団協会 HP

<https://www.cf-japan.org>

▶ 市民セクター全体の信頼性向上をいっそう進めていきたいと考える有志のホームページ

<https://forcommunityfund.hp.peraichi.com>

### 2. NPO わがことが本件には無関係でありながら今回のお知らせをするに至った経緯

はじめに、本件はNPO わがことと直接関係のない事案であることを明確に申し上げます。その上で、今回なぜこのようなお知らせをするに至ったのか、経緯を説明いたします。

NPO わがことは2022年7月より、CFJを資金分配団体とした休眠預金等活用事業「地域の資金循環とそれを担う組織・若手支援者を生み出す人材育成事業」に採択されています。採択された事業は「高松から未来を創り支える コミュニティ財団設立に向けて」というものであり、本事業のアウトプットの形として2023年9月に一般財団法人たかまつ讃岐てらす財団（以下、てらす財団）を設立しました。

冒頭に申しあげました通り、NPO わがことは本件について無関係であります。一方で、2022年7月より休眠預金事業でCFJから非資金的支援として、財団設立や運営に関する助言等も受けています。指導的立場にある団体が社会において大きな影響を及ぼすような事態を招いている以上、私どもとしても関係者様や地域のみなさまにご説明の必要があるだろうと判断し、今回のお知らせに至った次第です。

### 3. 本件に関するNPO わがことの対応

CFJは3月24日付で「第三者委員会」を設置し、6月中を目標に報告書を公開するとしています。私どもは、まずは第三者委員会の報告書の公開を待ちます。

一方で、本件が日本財団から公開されて以降、CFJからは特に説明はなく、これまでは、本件に直接関わりがないので積極的に説明を求めることをしませんでした。社会の関心が高まっていることを実感する場面もあり、NPO わがことの理事会からも「本件について慎重に対応すべき」との意見が上がっています。そのため、第三者委員会の報告書の公開を待つという立場を基本としつつ、CFJ宛に「本件について、現時点でNPO わがことに説明を求める」と働きかけています。

本件が今後どのような動きになるのか現時点ではわかりませんが、その動き如何に関わらず、NPO わがことのめざすべき姿が変わったり、事業の歩みが止まったりすることは決してありません。

また、前述の通り、NPO わがことも休眠預金という国民の預金を原資とした事業をさせていただいている団体であることをより一層自覚し、これまで以上にコンプライアンスの強化やガバナンスの整備を進め、信頼性の高い組織づくりに強い意志と覚悟を持って取り組んでいく所存です。

本件については、てらす財団の役員等からも慎重な対応を求める意見が上がっており、てらす財団の理事会および評議員会には随時情報共有をしています。

関係のみなさま、地域のみなさまには、変わらずご賛同、ご支援賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。